

特集

公共施設を活用しているクラブ

NPO法人習志野イースタンススポーツクラブ

<千葉県習志野市>

総合型クラブが日常的な活動拠点として地域における身近な施設である学校施設・公共スポーツ施設・公民館等の社会教育施設を確保することは、クラブの安定的な活動・運営につながります。

そこで、学校施設・公共施設を活用し、地方公共団体や学校教育機関と連携するクラブを紹介します。

1 クラブ概要

住民へのアンケートを基に計17種目の定期活動を実施

平成13年12月に習志野市教育委員会よりクラブ指定を受け、市民スポーツ指導員24名による設立委員会を立ち上げました。そして、地元住民へのアンケート調査の実施、まちづくり会議はじめ各種会議への趣旨説明の実施、広報習志野への掲載等を経て平成15年5月に設立しました。同アンケートは、スポーツ活動の実施状況、希望するスポーツ種目等の調査で、アンケート用紙は小中学校あわせて4校の児童、生徒へ配布し、回収を行うことで住民のニーズを把握することができました。ちなみに回収件数は2810件で、回収率としては地域人口の10.7%でした。

現在、スポーツ活動15種目、文化活動2種目の定期活動と年1回のスポーツフェスティバル、市内の中学生を対象としたソフトテニス大会を主催するなど、「だれでも、いつでも、いつまでも」をスローガンに活動しています。

事務局は、習志野市東部体育館内の事務室を使用し、水、金、土曜日に当番を割り当て、会員および外部との連絡調整にあたっています。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会員の更新者が激減しています。



クラブ主催のスポーツフェスティバルの開会式のセレモニーの中で、毎年東習志野小学校の吹奏楽部の素晴らしい演奏で、幕を開ける。



スポーツフェスティバルにて、初めてポッチャを体験種目の一つとして取り入れた。多くの人が夢中になって楽しんだ。

2 市と学校の理解で近隣小学校の施設活用が可能に

当クラブは、習志野市東部体育館をスポーツ活動の拠点として活用することを前提に設立しました。しかし、東部体育館だけでは、他の利用者との施設利用調整で難しい側面もあり、どうしても活動機会が少なくなってしまう実態にありました。

そこで、近隣小学校の学校体育施設開放委員会と交渉し、土、日曜日の校庭や体育館の使用許可をいただきました。また、東部体育館に隣接する第四中学校の体育館および卓球場の使用についても許可をいただくことができました。

クラブハウス設置については、市に設置を要望したところ、第四中学校の敷地の一部を借用できることとなり、クラブハウスを建設していただきました。

これらが可能となったのは、市や学校が総合型地域スポーツクラブの活動に深く理解を示していただいていることが挙げられます。総合型地域スポーツクラブの運営については、習志野市教育委員会とクラブとの共同事業となっており、毎年度「行事共催協定書」を締結し、この契約に基づいて活動している点も、「理解」への背景となっています。

3

公共施設活用の経緯でポイントとなった事項

- ① 地域住民のスポーツに関するアンケート調査を行ない、実態を把握し、活動種目を決定しました。(地域住民の10.7%から回答)
- ② 平成11年12月に習志野市スポーツ振興審議会より建議のあった「市の中学校区毎に総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業を導入」との趣旨に基づき、市の育成モデル事業として導入されたため、公共施設については、アンケート内容による希望種目を中心に、ほぼ要望どおりに会場を確保していただき、利用することができました。
- ③ 地域の小中学校の教頭に理事就任を依頼し、学校との連絡・調整を円滑にしました。
- ④ ローテーション制による事務局運営については、事務局開設日の毎週水、金、土曜日の14時から16時の間を、現在7名のスタッフが担当しています。スポーツ活動に携わりながらの事務局業務はかなりの負担と考えられますが、クラブの進む方向、対外的折衝の内容、日常の活動状況をつぶさに把握することができるメリットは大きいと思います。なお、交通費相当額として、わずかですが手当を支給しています。
- ⑤ 平成19年12月、東部体育館に隣接する第四中学校の敷地内にクラブハウスを建設してもらい、現在は「絵てがみ」「布あそび」などの文化活動を行う他、各種会議、会員のミーティングにも活用しています。



クラブハウスの文化活動一つ、布あそびの作品。
会員が教え合い楽しいひと時を過ごしながらか、作った作品の数々。

4

若手会員増と世代交代が不可欠 広報活動にも重点を

現在も定期活動拠点の確保については、市の施設を優先的に利用できています。しかし、施設の改修および災害等による被害があった場合は、活動日が減少することがあります。

2011年の東日本大震災時には、活動している施設の改修工事により活動が減少し、退会者が増えましたが、近接する小中学校の空きスペースの借用や、近隣市のスポーツクラブの活動へ合流するなどして何とか乗り切りました。

会員の高齢化とともに、理事や各種目の代表者も高齢化し、しかも長期にわたりその任を務めてきています。クラブの活性化と発展のためには、世代交代が不可欠ですが、後任のなり手がいないのが現状です。

今後、1～2年の間に人材の育成および発掘に努め、組織固めをしていかなければなりません。その一つとして、若い世代に関心を持ってもらい会員を増やすことで、新たな人材の確保、クラブの活性化と発展にもつながると考えます。

そのためにも、活動種目の見直し、新しい種目の導入や活動の在り方等の見直し・改善をしていかなければなりません。また、広報活動にも重点を置き、地域に総合型スポーツクラブの存在をより広めることも積極的に進めてまいります。

(NPO法人習志野イースタンスポーツクラブ 理事長 田村 義彦)



NES創立15周年記念「ジュニア第7回ソフトテニス交流会マッチ」
市内中学1年生を対象に試合経験を増やす目的としている大会
であり、熱戦が繰り広げられた。

クラブ プロフィール

設立年月日 平成15年5月24日（平成18年2月8日NPO法人登記）

所在地 千葉県習志野市東習志野3-4-5

運 営 会員数266名（令和2年3月現在）、予算規模246万円（令和元年度）

特 徴

- クラブ活動の拠点として、市の体育館・テニスコートや隣接する学校等があり、施設には恵まれています。また体育館にはクライミング施設があり、その活動もできます。
- クラブハウスがあり、文化活動もできる環境にあります。
- 競技主体として活動するより、「だれでも、いつでも、いつまでも」を目標としています。

連絡先

〒275-0001 習志野市東習志野3-4-5
TEL 047-474-3215 FAX 047-474-3215
URL <https://nes2003.sakura.ne.jp>
E-Mail nes2003@jcom.zaq.ne.jp